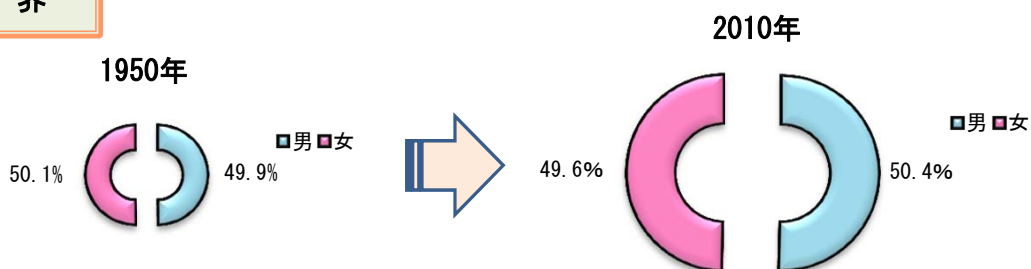


## V 女性関係データ（参考）

### 1 世界人口に占める女性の割合

2010年の世界人口に占める女性の割合は49.6%で、1950年から2010年の60年間で先進国での減少の影響から約0.5%減少している。

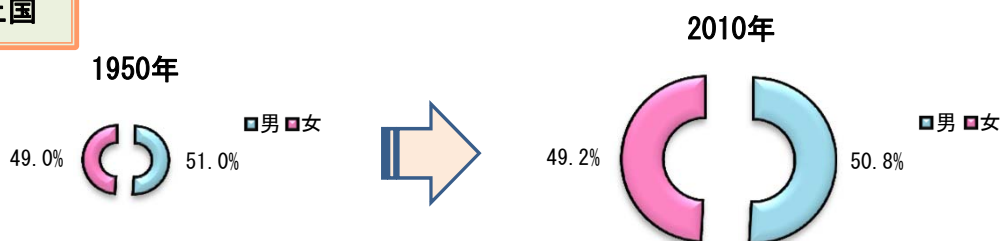
#### 世界



#### 先進国



#### 開発途上国



1 総人口及び、総人口に占める男女割合の推移（1950～2010年）

単位 { 人口：千人  
男女割合：%

区分	1950年			1960			1970			1980		
	総人口		総人口	総人口		総人口	総人口		総人口	総人口		
	女	男		女	男		女	男		女	男	
世界	50.1	49.9	2,525,149	50.0	50.0	3,018,344	49.9	50.1	3,682,488	49.8	50.2	4,439,632
先進国	52.3	47.7	812,989	52.0	48.0	914,951	51.7	48.3	1,007,682	51.6	48.4	1,081,844
開発途上国	49.0	51.0	1,712,161	49.2	50.8	2,103,393	49.2	50.8	2,674,806	49.2	50.8	3,357,789

区分	1990			2000			2010		
	総人口		総人口	総人口		総人口	総人口		総人口
	女	男		女	男		女	男	
世界	49.7	50.3	5,309,668	49.7	50.3	6,126,622	49.6	50.4	6,929,725
先進国	51.5	48.5	1,144,463	51.4	48.6	1,188,812	51.4	48.6	1,233,376
開発途上国	49.2	50.8	4,165,205	49.2	50.8	4,937,810	49.2	50.8	5,696,349

資料：総務省統計局「世界の統計 2016」

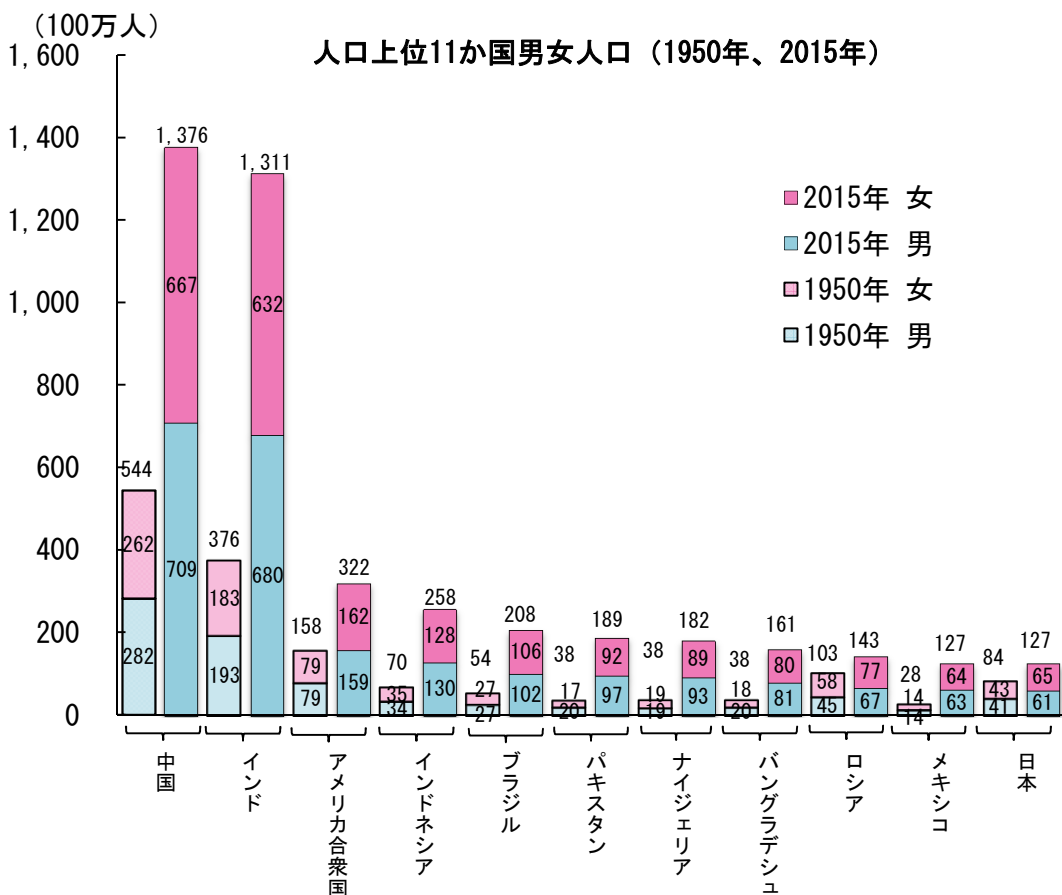
総務省統計局「国勢調査結果」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による。

V 女性関係データ（参考）

2 世界人口上位11か国の人口構造

(1) 男女人口

人口上位11か国の男女人口の割合をしてみると、2015年では、アメリカ合衆国、ブラジル、ロシア、メキシコ及び日本で、女性の人口が男性人口を上回っている。



2- (1) 人口上位11か国の男女人口（1950年、2015年）

単位 { 人口：100万人  
男女割合：%

順位	国（地域）	1950年				総数	2015				総数
		女		男			女		男		
		人口	構成割合	人口	構成割合		人口	構成割合	人口	構成割合	
1	中国	262	48.2	282	51.8	544	667	48.5	709	51.5	1,376
2	インド	183	48.7	193	51.3	376	632	48.2	680	51.9	1,311
3	アメリカ合衆国	79	50.0	79	50.0	158	162	50.3	159	49.4	322
4	インドネシア	35	50.0	34	48.6	70	128	49.6	130	50.4	258
5	ブラジル	27	50.0	27	50.0	54	106	51.0	102	49.0	208
6	パキスタン	17	44.7	20	52.6	38	92	48.7	97	51.3	189
7	ナイジェリア	19	50.0	19	50.0	38	89	48.9	93	51.1	182
8	バングラデシュ	18	47.4	20	52.6	38	80	49.7	81	50.3	161
9	ロシア	58	56.3	45	43.7	103	77	53.8	67	46.9	143
10	メキシコ	14	50.0	14	50.0	28	64	50.4	63	49.6	127
11	日本	43	51.2	41	48.8	84	65	51.2	61	48.0	127

資料：総務省統計局「世界の統計 2016」

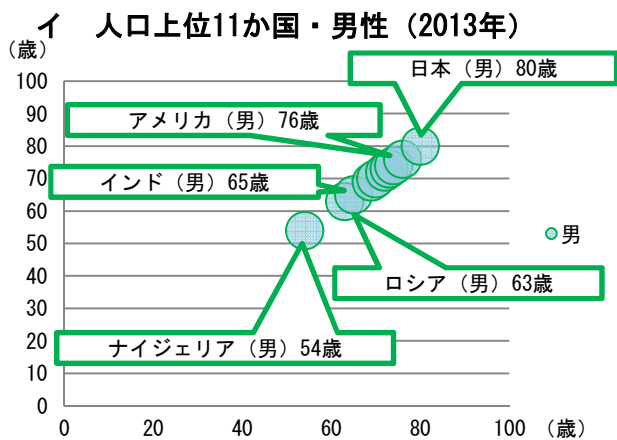
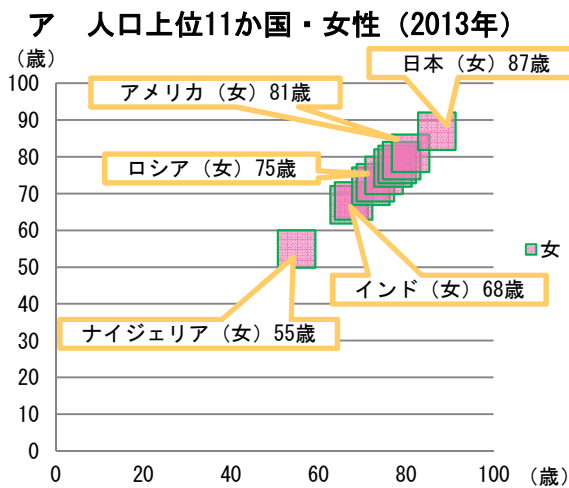
注：上位11か国は、2015年の人口の多い順の上位11か国。

V 女性関係データ（参考）

2 世界人口上位11か国の人口構造

(2) 平均寿命

世界の人口上位11か国の平均寿命は、女性及び男性とも日本が最も高く、女性では次いでアメリカ、ブラジル、メキシコの順になっている。



平均寿命とは、出生時（0歳）の平均余命（その後生存できるとされる平均年数）。

2- (2) 人口上位11か国の男女別平均寿命

単位：年

区分	2013年	
	女	男
中 国	77	74
イ ア ン カ 合 衆 国	68	65
メ リ ド ネ シ	81	76
イ ン ド	73	69
ブ ラ ジ ル	79	72
パ キ ス タ ン	67	65
バ ン グ ラ デ シ ュ	72	70
ロ シ ア	75	63
ナ イ ジ ェ リ ア	55	54
日 本	87	80
メ キ シ コ	78	73

資料：総務省統計局「世界の統計 2016」

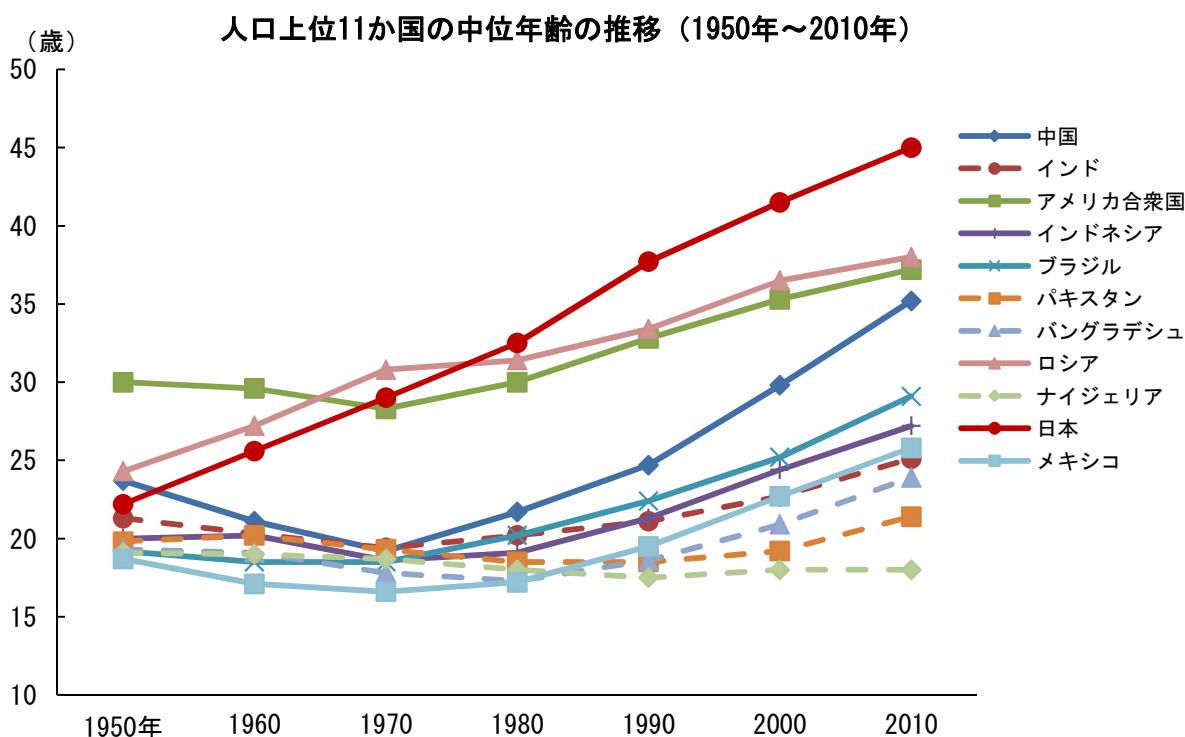
注：上位11か国は、2005年の人口の多い順の上位11か国。

## V 女性関係データ（参考）

### 2 世界人口上位11か国の人口構造

#### (3) 中位年齢

世界の人口上位11か国の中位年齢を見てみると、日本は60年前は4番目であったものが2010年では45.0歳で最も中位年齢が高くなっている。



中位年齢とは、  
人口を年齢順に並べ、その中央で全人口を2等分する境界点にある年齢をいう。

#### 2 - (3) 中位年齢の推移（1950～2010年）

単位：歳

区分	1950年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年
世界	23.5	22.6	21.5	22.5	24.0	26.3	28.5
先進国	28.5	29.5	30.6	31.9	34.4	37.3	40.0
開発途上国	21.4	20.0	18.8	19.9	21.7	24.0	26.4
(1)中国	23.7	21.1	19.2	21.7	24.7	29.8	35.2
(2)インド	21.3	20.3	19.4	20.2	21.1	22.7	25.1
(3)アメリカ合衆国	30.0	29.6	28.3	30.0	32.8	35.3	37.2
(4)インドネシア	20.0	20.2	18.6	19.1	21.3	24.4	27.2
(5)ブラジル	19.2	18.5	18.5	20.2	22.4	25.2	29.1
(6)パキスタン	19.8	20.2	19.3	18.5	18.5	19.2	21.4
(7)バングラデシュ	19.3	19.1	17.8	17.3	18.6	20.9	23.9
(8)ロシア	24.3	27.2	30.8	31.4	33.4	36.5	38.0
(9)ナイジェリア	19.1	19.0	18.7	18.0	17.5	18.0	18.0
(10)日本	22.2	25.6	29.0	32.5	37.7	41.5	45.0
(11)メキシコ	18.7	17.1	16.6	17.2	19.5	22.7	25.8

資料：総務省統計局「世界の統計 2016」

総務省統計局「国勢調査結果」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による。

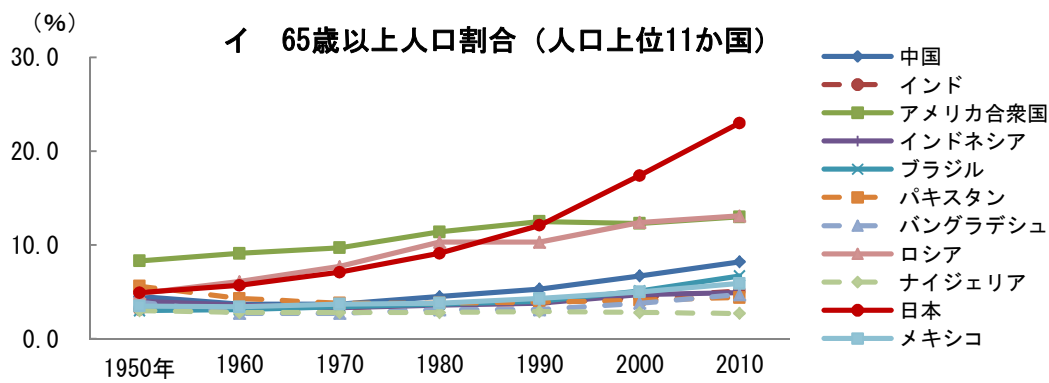
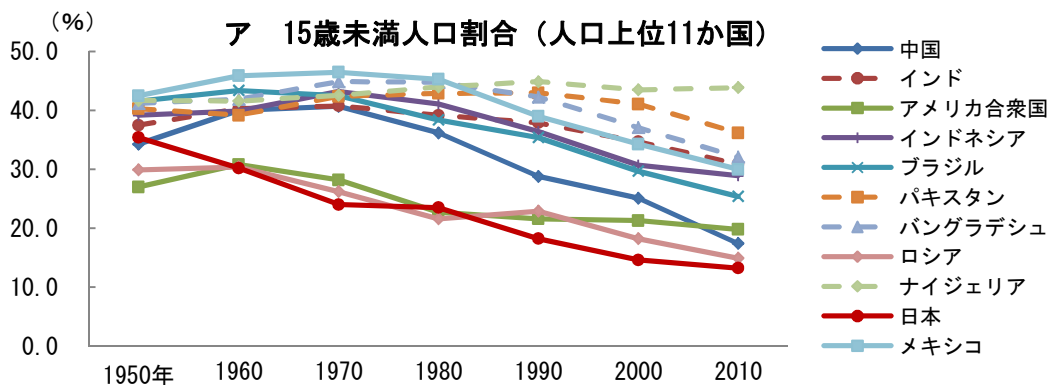
注：上位11か国は、2005年の人口の多い順の上位11か国。

V 女性関係データ (参考)

2 世界人口上位11か国の人口構造

(4) 従属人口

2010年の従属人口の推移を見てみると、日本は人口上位11か国の中で、1950年当時は世界の平均とほぼ同値であったが、2010年では15歳未満人口の割合が最も低く、65歳以上人口の割合が最も高くなっている。



従属人口とは、14歳までの年少人口と65歳以上の老年人口を合計した人口。

2 - (4) 従属人口割合の推移 (1950~2010年)

単位 : %

区 分	1950		1960		1970		1980		1990		2000		2010	
	従属人口		従属人口		従属人口		従属人口		従属人口		従属人口		従属人口	
	15歳未満	65歳以上	15歳未満	65歳以上	15歳未満	65歳以上	15歳未満	65歳以上	15歳未満	65歳以上	15歳未満	65歳以上	15歳未満	65歳以上
世 界	34.3	5.1	37.1	5.0	37.6	5.3	35.4	5.8	32.9	6.1	30.2	6.8	26.7	7.6
先 進 国	27.4	7.7	28.2	8.5	25.9	9.9	22.5	11.7	20.5	12.5	18.2	14.3	16.4	16.1
開 発 途 上 国	37.6	3.8	41.0	3.5	42.0	3.5	39.6	4.0	36.3	4.3	33.0	5.0	28.9	5.8
(1)中国	34.3	4.5	40.0	3.7	40.7	3.7	36.2	4.5	28.8	5.3	25.1	6.7	17.4	8.2
(2)インド	37.5	3.1	40.3	3.1	40.8	3.3	39.2	3.6	37.9	3.8	34.7	4.4	30.9	5.1
(3)アメリカ合衆国	27.0	8.3	30.8	9.1	28.2	9.7	22.7	11.4	21.6	12.5	21.3	12.3	19.8	13.0
(4)インドネシア	39.2	4.0	39.9	3.6	43.2	3.3	41.1	3.6	36.4	3.8	30.7	4.7	28.9	4.9
(5)ブラジル	41.6	3.0	43.4	3.1	42.5	3.4	38.4	3.7	35.4	4.0	29.7	5.1	25.4	6.7
(6)パキスタン	40.3	5.6	39.2	4.3	42.4	3.8	42.9	3.8	43.0	3.9	41.1	4.1	36.2	4.4
(7)バングラデシュ	41.2	3.9	41.9	2.7	44.9	2.7	44.8	3.1	42.3	3.1	37.1	3.8	32.1	4.7
(8)ロシア	29.9	4.8	30.4	6.1	26.2	7.7	21.6	10.3	22.9	10.3	18.2	12.4	14.9	13.1
(9)ナイジェリア	41.7	3.0	41.6	2.8	42.6	2.8	44.0	2.8	44.9	2.9	43.5	2.8	43.9	2.7
(10)日本	35.4	4.9	30.2	5.7	24.0	7.1	23.5	9.1	18.2	12.1	14.6	17.4	13.2	23.0
(11)メキシコ	42.5	3.5	45.9	3.4	46.5	3.7	45.3	3.8	39.0	4.3	34.3	5.0	30.0	5.9

資料： 総務省統計局「世界の統計 2016」

総務省統計局「国勢調査結果」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による。

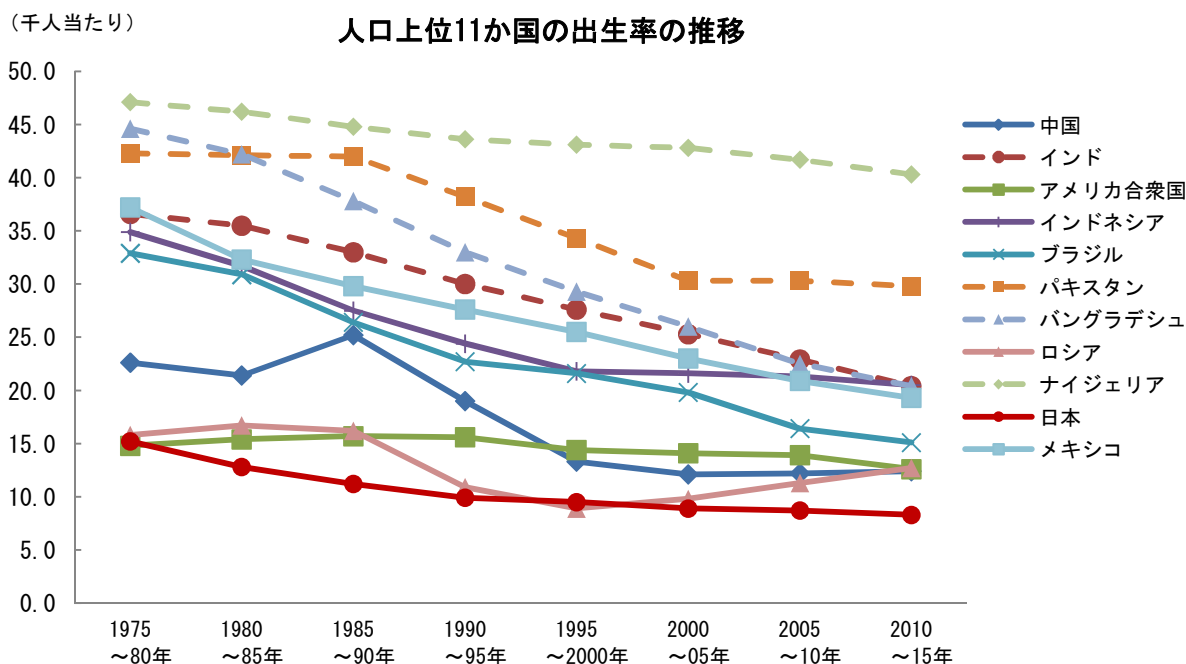
注：上位11か国は、2005年の人口の多い順の上位11か国。

V 女性関係データ（参考）

2 世界人口上位11か国の人口構造

(5) 出生率

世界の人口上位11か国の出生率は各国とも低下している中で、日本の出生率は1975～80年の1000人あたり15.2人から、2010年～15年には8.3人へ減少し、人口上位11か国中最も少なくなっている。



2- (5) 出生率の推移

単位：千人当たり

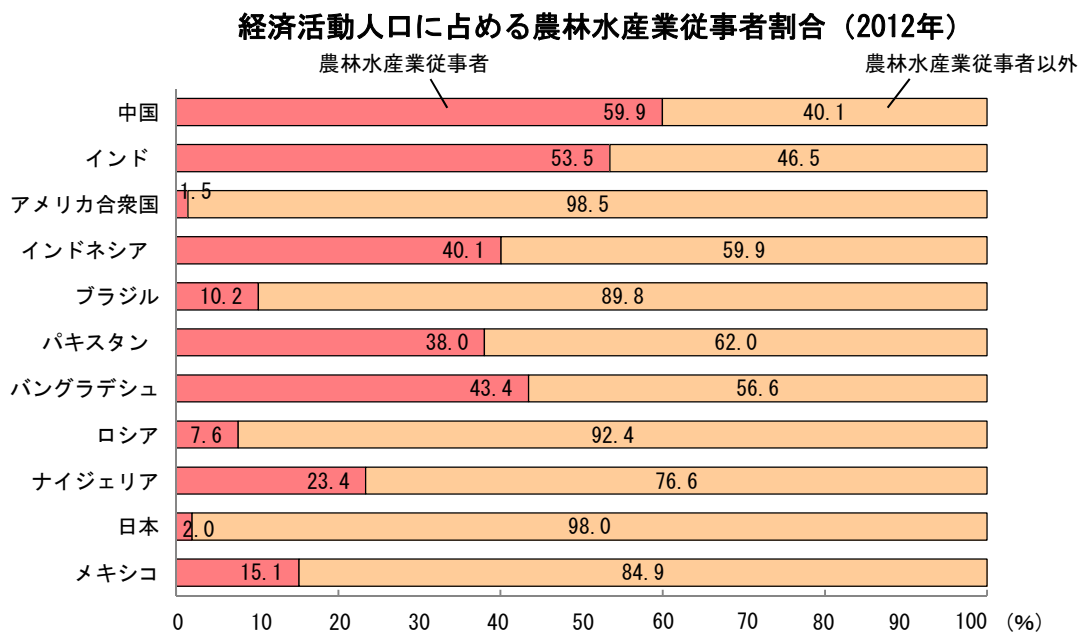
区分	1975 ～80年	1980 ～85年	1985 ～90年	1990 ～95年	1995 ～2000年	2000 ～05年	2005 ～10年	2010 ～15年
世界	28.6	27.8	27.5	24.5	21.9	20.8	20.2	19.6
先進国	14.8	14.4	13.9	12.4	11.2	11.0	11.4	11.1
開発途上国	33.2	32.0	31.4	27.7	24.6	23.1	22.2	21.4
中国	22.6	21.4	25.2	19.0	13.3	12.1	12.2	12.4
インド	36.6	35.5	33.0	30.0	27.6	25.3	22.9	20.4
アメリカ合衆国	14.8	15.4	15.7	15.6	14.4	14.1	13.9	12.6
インドネシア	34.9	31.7	27.5	24.4	21.8	21.6	21.3	20.5
ブラジル	32.9	30.9	26.4	22.7	21.6	19.8	16.4	15.1
パキスタン	42.3	42.1	42.0	38.2	34.3	30.3	30.3	29.8
バングラデシュ	44.6	42.2	37.8	33.0	29.3	26.0	22.5	20.4
ロシア	15.8	16.7	16.2	10.9	8.9	9.8	11.3	12.7
ナイジェリア	47.1	46.2	44.8	43.6	43.1	42.8	41.7	40.3
日本	15.2	12.8	11.2	9.9	9.5	8.9	8.7	8.3
メキシコ	37.2	32.3	29.8	27.6	25.5	23.0	20.9	19.3

資料：総務省統計局「世界の統計 2016」  
注：2005年の人口の多い順の上位11か国を表記した。

## V 女性関係データ（参考）

### 3 世界の経済活動人口に占める農林水産業従事者割合

世界の上位11カ国の経済活動人口に占める農林水産業従事者割合は、中国、インドで50%以上と高く、アメリカ、ロシア、日本では10%以下と低い。



経済活動人口とは、労働供給を行う全ての人口。具体的には、特定の調査対象期間に就業又は失業していた人の総数。

### 3 経済活動人口に占める農林水産業従事者割合

単位：千人

区 分	2012年		
	経済活動人口		割合 (%)
	農林水産業従事者		
世界	3,388,611	1,324,976	39.1
アジア	2,090,607	1,030,280	49.3
北アメリカ	272,966	18,655	6.8
南アメリカ	204,140	25,307	12.4
ヨーロッパ	368,661	20,352	5.5
アフリカ	433,067	227,057	52.4
オセアニア	19,170	3,325	17.3
中国	827,646	496,132	59.9
インド	506,738	271,065	53.5
アメリカ合衆国	164,342	2,410	1.5
インドネシア	124,702	49,963	40.1
ブラジル	103,310	10,495	10.2
パキスタン	67,008	25,487	38.0
バングラデシュ	74,387	32,321	43.4
ロシア	77,930	5,957	7.6
ナイジェリア	53,305	12,465	23.4
日本	63,319	1,246	2.0
メキシコ	52,234	7,911	15.1

資料：総務省「世界の統計 2015」

注：1 調査対象期間は国（地域）によって異なる。また、対象範囲は国により、軍隊、宗教関係者、求職者、季節労働者、パートタイム従業者などの取扱いが異なるが、一般に、学生、就職も求職もしない退職者、自家の家事のみに従事している者、自己資産のみで生活している者、完全に扶養されている者、刑務所などの施設にいる者は対象外である。

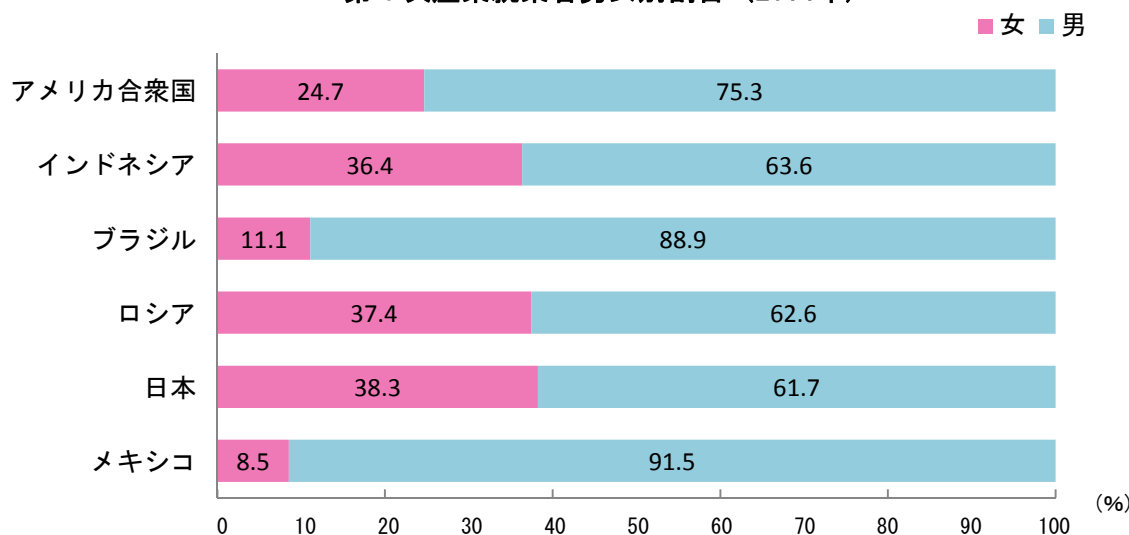
2 2005年の人口の多い順の上位11か国を表記した。

## V 女性関係データ（参考）

### 4 世界の第1次産業就業者男女別割合

世界の人口上位10カ国のうち、データが整備されている国の第1次産業就業者に占める女性の割合は、日本が38.3%で一番高く、次いでロシア、インドネシアの順となっている。

第1次産業就業者男女別割合（2014年）



注：1 2005年の人口の多い順の上位11か国のうち、第1次産業就業者数データが整備されている6か国を表記した。  
2 ブラジルは2013年のデータ。

#### 4 第1次産業就業者数（男女別）

単位：千人

区 分	2014年（*は2013年）									
	農業、林業、漁業					農業、狩猟業、林業、漁業				
	女	構成割合	男	構成割合		女	構成割合	男	構成割合	
中国	...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	...	...
インド	...	nc	...	nc	...	...	nc	...	nc	...
アメリカ合衆国 a（16歳以上）	552	24.7	1,685	75.3	2,237	...	nc	...	nc	...
インドネシア（15歳以上）	...	nc	...	nc	...	14,181	36.4	24,792	63.6	38,973
ブラジル（10歳以上）	...	nc	...	nc	...	* 450	11.1	* 3,610	88.9	* 4,060
パキスタン	...	nc	...	nc	...	...	nc	...	nc	...
バングラディシュ	...	nc	...	nc	...	...	nc	...	nc	...
ロシア（15-72歳）	...	nc	...	nc	...	1,801	37.4	3,009	62.6	4,810
ナイジェリア	...	nc	...	nc	...	...	nc	...	nc	...
日本（15歳以上）	880	38.3	1,420	61.7	2,300	...	nc	...	nc	...
メキシコ（15歳以上）	417	8.5	4,468	91.5	4,885	...	nc	...	nc	...

資料：総務省統計局「世界の統計2016」

注：1 勤め先の事業所の産業（事業内容）別に分類した就業者数。

2 産業分類は国際標準産業分類（ISIC：International Standard Industrial Classification of All Economic Activities）による。

3 調査対象年齢は国名欄に注記した。

4 aは、北アメリカの産業分類による。ISICとの互換性は厳密ではない。

5 2005年の人口の多い順の上位11か国を表記した。

6 統計表中の「…」は、数字が得られないものを示す。

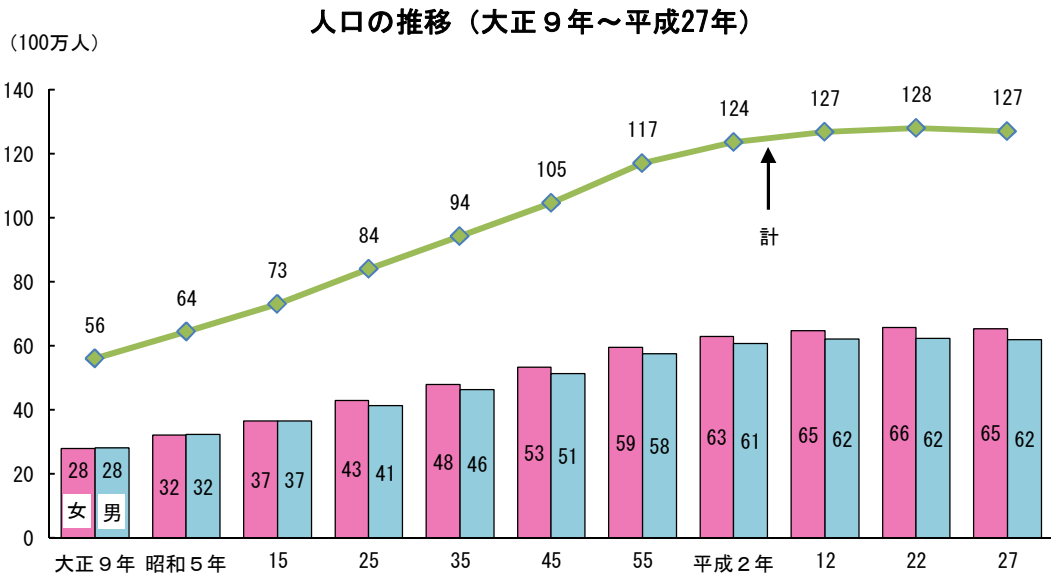
7 統計表中の「nc」は、計算不能を示す。



V 女性関係データ（参考）

5 日本の人口の推移

日本の人口は年々増加してきたものの近年は横ばいとなっており、また、男女別で昭和15年までは男性が多かったが、以降、男女が逆転し平成27年の人口は、女性65百万人、男性62百万人となっている。



5 人口の推移（大正9年～平成27年）

単位：100万人

区分	女	男	計
大正9年	28	28	56
14	30	30	60
昭和5年	32	32	64
10	35	35	69
15	37	37	73
20 1)	38	34	72
25	43	41	84
30	46	44	90
35 2)	48	46	94
40	51	49	99
45	53	51	105
50	57	55	112
55	59	58	117
60	62	59	121
平成2年	63	61	124
7	64	62	126
12	65	62	127
17	65	62	128
22	66	62	128
27	65	62	127

資料：総務省統計局『国勢調査』

注：1 1)は沖縄県は調査されなかったため、含まれていない。

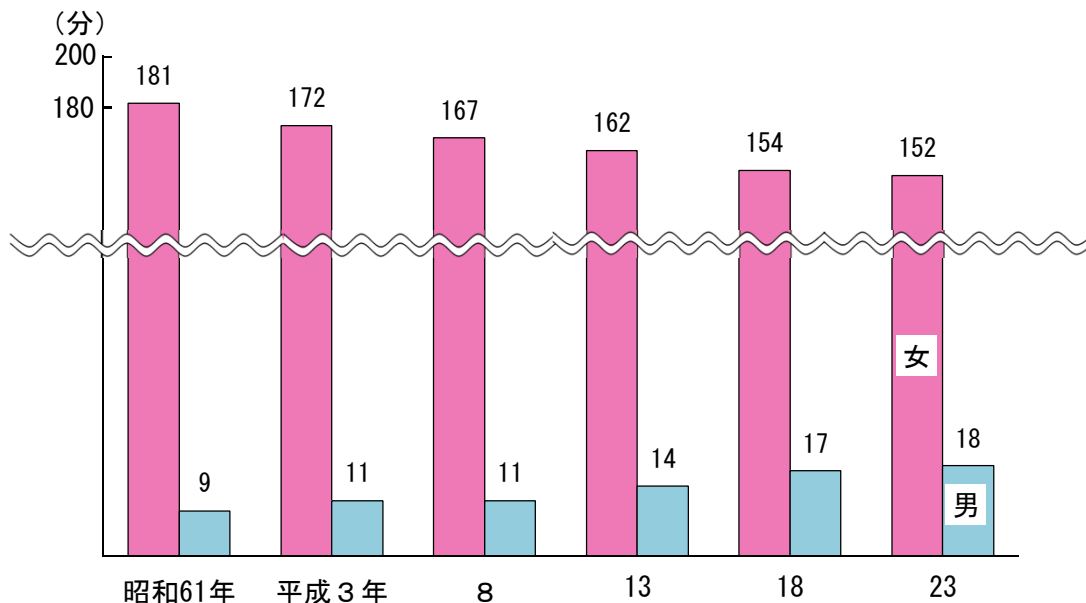
2 2)は長野県西筑摩郡山口村と岐阜県中津川市の境界紛争地域人口（男39人、女34人）は全国に含まれているが、長野県及び岐阜県のいずれにも含まれていない。

V 女性関係データ（参考）

6 日本の家事時間の推移

平成23年の週全体の家事時間（総数）は、昭和61年に比べて女性は181分から152分となり、29分減少し、男性は9分から18分となり、9分増加している。

家事時間の推移（週全体（女、男））



6 家事時間の推移（男、女）（昭和51～平成23年）

区分	家事時間（総平均時間（分））																							
	昭和51年 (1976年)		56 (1981年)		61 1) (1986年)		平成3年 (1991年)		8 (1996年)		13 (2001年)		18 (2006年)		23 (2011年)									
	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計						
<b>週全体</b>																								
総数	198	8	107	203	8	109	181	9	98	172	11	93	167	11	91	162	14	90	154	17	87	152	18	87
有業者	159	7	70	156	7	67	150	7	66	145	8	65	138	7	61	133	9	61	131	11	62	130	11	62
無業者	244	12	186	252	16	191	215	19	160	203	21	150	200	24	149	195	30	143	195	37	143	191	38	138
<b>平日</b>																								
総数	198	6	107	204	7	108	180	8	97	171	8	92	168	9	91	163	12	90	155	15	87	154	17	87
有業者	154	5	67	152	4	64	145	5	62	139	5	61	133	5	58	129	7	58	128	8	59	127	9	60
無業者	249	12	190	259	16	196	220	19	163	209	20	154	207	24	154	202	30	147	203	38	148	199	40	144
<b>土曜日</b>																								
総数	197	8	107	204	9	110	184	10	100	176	14	97	168	13	93	165	18	93	150	20	87	145	19	84
有業者	159	7	71	158	8	68	152	8	67	154	12	71	147	10	67	144	14	69	138	16	67	133	15	66
無業者	242	12	184	254	16	192	218	19	163	203	23	150	193	24	143	188	30	138	179	36	133	174	33	125
<b>日曜日</b>																								
総数	198	13	110	197	16	109	182	15	101	172	19	98	163	16	92	156	19	90	149	22	87	149	23	87
有業者	181	13	83	179	16	81	175	15	80	167	18	80	155	14	73	144	16	70	142	19	71	142	20	72
無業者	219	12	167	216	16	164	190	18	142	178	23	132	172	22	128	169	29	125	171	35	128	170	34	123

資料：総務省統計局『社会生活基本調査』

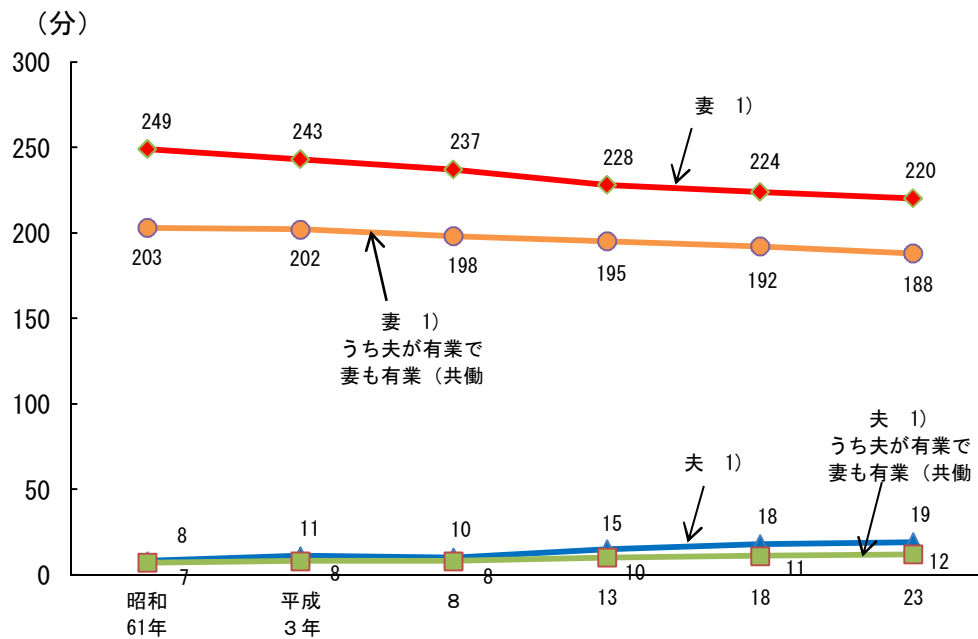
注：1)は「介護・看護」を含む

V 女性関係データ（参考）

7 日本の共働き世帯における家事時間の推移

平成23年の共働き世帯における家事時間は、女性188分、男性12分であり、昭和61年に比べ女性の負担がやや減少している。

共働き世帯における家事時間（総平均時間）の推移



7 共働き世帯における家事時間（総平均時間）の推移

夫・妻 世帯の家族類型 共働きか否か	総平均時間（分）					
	家事 2)					
	昭和61年 (1986)	平成3年 (1991)	8 (1996)	13 (2001)	18 (2006)	23 (2011)
合計	257	254	247	243	242	239
うち夫が有業で妻も有業（共働き）	210	210	206	205	203	200
夫 1)	8	11	10	15	18	19
うち夫が有業で妻も有業（共働き）	7	8	8	10	11	12
妻 1)	249	243	237	228	224	220
うち夫が有業で妻も有業（共働き）	203	202	198	195	192	188

資料：総務省統計局「社会生活基本調査」

注：1 1)は、次の世帯の夫（妻）：「夫婦のみの世帯」、「夫婦と子供の世帯」、「夫婦と両親の世帯」、「夫婦とひとり親の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」。

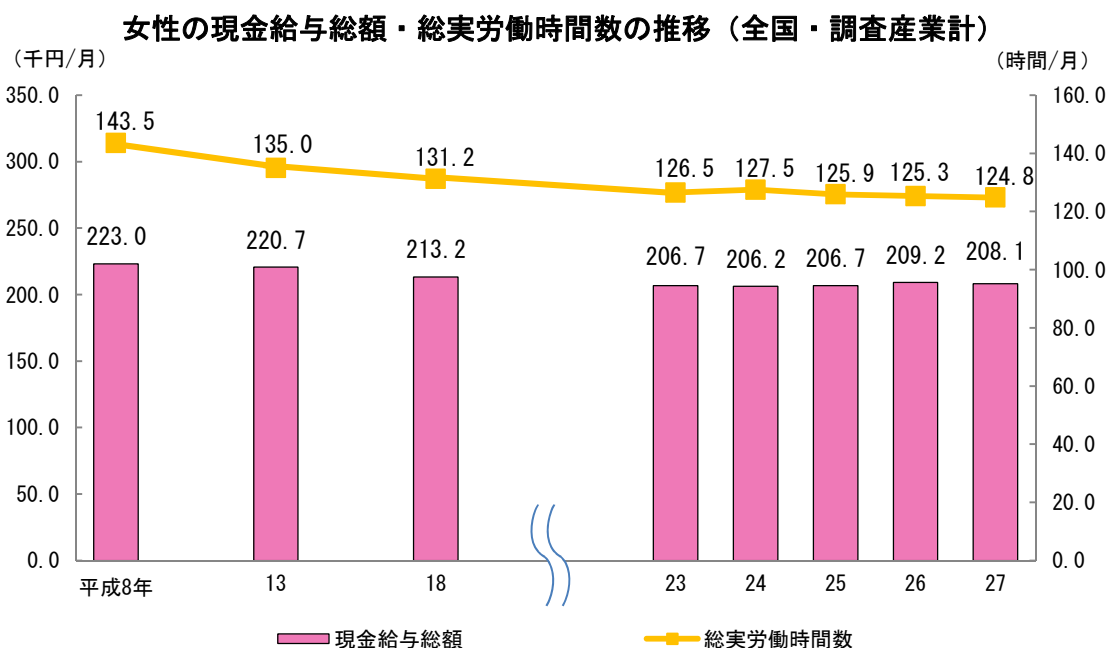
2 2)の昭和61年は、「介護・看護」を含む。

V 女性関係データ（参考）

## 8 日本の給与と労働時間

### (1) 現金給与総額・総実労働時間数の推移

平成27年における女性の総実労働時間数は男性の約8割、現金給与総額は男性の約半分とその割合は20年前とほぼ変わっていない。



8-1) 男女別現金給与総額、総実労働時間数の推移（調査産業計）（平成8～27年）

区 分	現金給与総額			総実労働時間数		
	女	男	男女比 (女/男)	女	男	男女比 (女/男)
	千円/月	千円/月	%	時間/月	時間/月	%
平成8年	223.0	451.8	49.4	143.5	170.1	84.4
13	220.7	440.2	50.1	135.0	165.3	81.7
18	213.2	425.4	50.1	131.2	165.3	79.4
23	206.7	404.5	51.1	126.5	160.9	78.6
24	206.2	400.5	51.5	127.5	162.6	78.4
25	206.7	400.4	51.6	125.9	161.2	78.1
26	209.2	404.4	51.7	125.3	161.2	77.7
27	208.1	401.2	51.9	124.8	160.7	77.7

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「毎月勤労統計調査」

注：1 現金給与総額とは、所得税、社会保険料、組合費、購買代金等を差し引く以前の給与として支払われた給与の総額（超過労働給与を含む定期給与と賞与などを含む特別給与の合計金額）である。

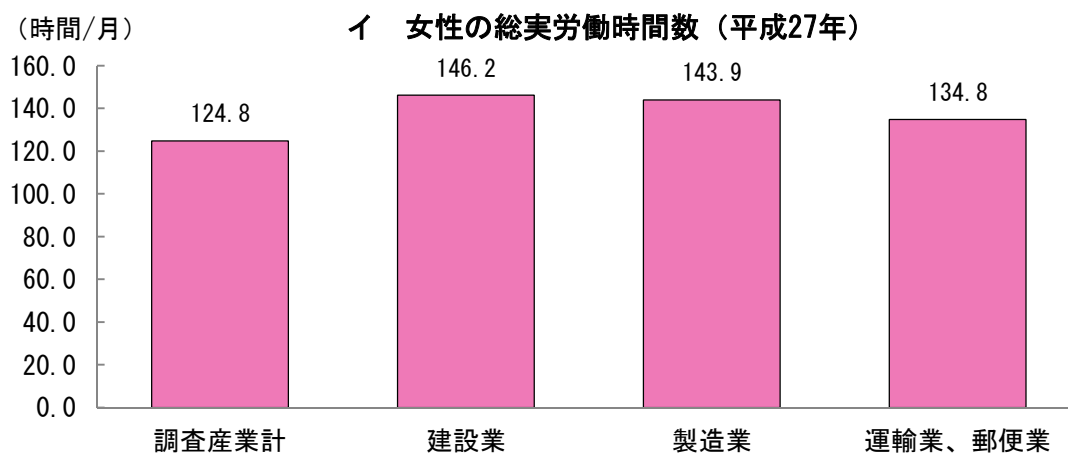
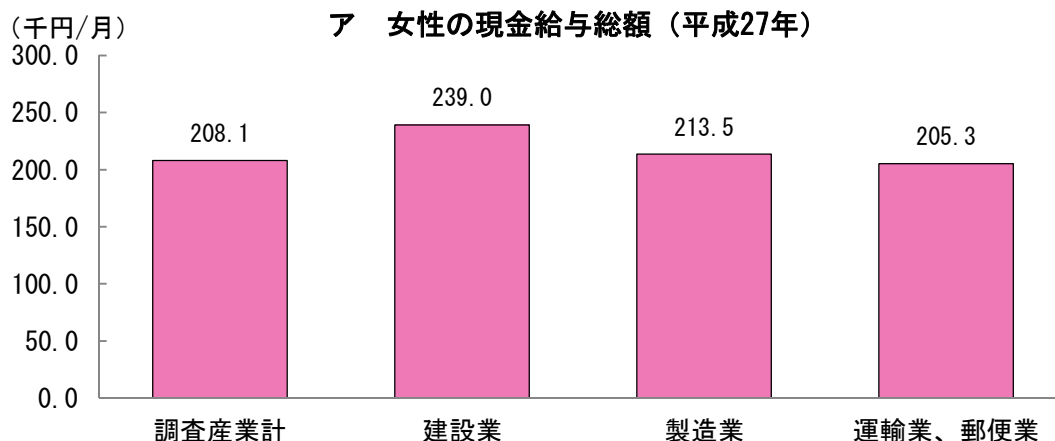
2 総実労働時間数とは、労働者が実際に労働した時間数の総数で、事業所の就業規則で定められた正規の就業時間内の実労働時間数である所定内労働時間数と、残業、臨時呼出など所定外労働時間数の合計である。

## V 女性関係データ（参考）

### 8 日本の給与と労働時間

#### (2) 産業別現金給与総額・総実労働時間数（平成27年）

平成27年の女性の総実労働時間数は、各産業とも男性の7割を超えている。一方、現金給与総額では、男性の約半分であり、男性に比べ時間当たり金額が低い。



#### 8-(2) 男女別現金給与総額、総実労働時間数（調査産業計、3産業）（平成27年）

区 分	現金給与総額			総実労働時間数		
	女	男	男女比 (女/男)	女	男	男女比 (女/男)
	千円/月	千円/月	%	時間/月	時間/月	%
調査産業計	208.1	401.2	51.9	124.8	160.7	77.7
建設業	239.0	407.6	58.6	146.2	176.5	82.8
製造業	213.5	443.2	48.2	143.9	171.1	84.1
運輸業、郵便業	205.3	373.4	55.0	134.8	180.9	74.5

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「毎月勤労統計調査」

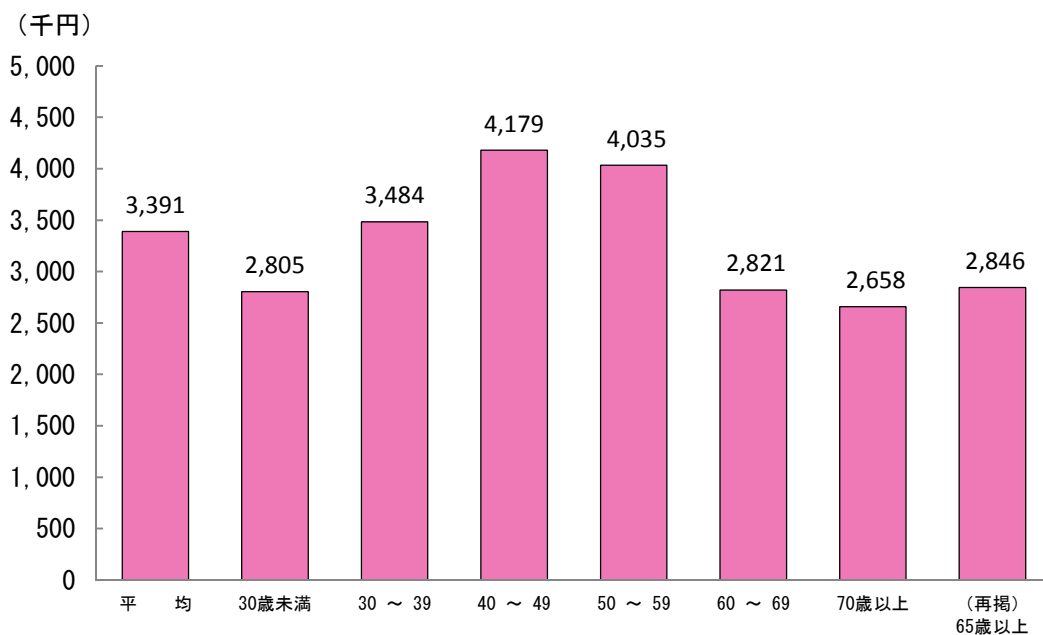
V 女性関係データ（参考）

8 日本の給与と労働時間

(3) 単身世帯（勤労者世帯）における年齢階級別年間収入（平成26年）

平成26年の単身世帯のうちの勤労者世帯の年間収入を男女別にみると、女性は平均で男性の76.1%となっている。また、女性の年齢階級別には、40～49歳を頂点とした山型となっている。

女性の年齢階級別年間収入（平成26年）



8-3) 単身世帯のうち勤労者世帯における男女別年間収入（平成26年）

単位：千円、%

区 分	女	男	男女比 (女/男)	
			千円/年	%
平均	3,391	4,458	76.1	
30歳未満	2,805	3,604	77.8	
30～39	3,484	4,372	79.7	
40～49	4,179	4,746	88.1	
50～59	4,035	5,710	70.7	
60～69	2,821	3,192	88.4	
70歳以上	2,658	3,864	68.8	
(再掲) 65歳以上	2,846	3,248	87.6	

資料：総務省統計局「全国消費実態調査」

注：1 年間収入とは、調査期間の収入総額をいう。（平成26年：平成25年12月から平成26年11月までの1年間の収入総額）

収入には、勤め先収入や事業収入、内職収入、財産収入、社会保障給付など実質的に資産の増加となる収入を集めた「実収入」、預貯金引出、有価証券売却などの資産の減少、あるいは借入金、月賦など負債の増加となる収入を集めた「実収入以外の受取」及び月初めの手持ち現金残高である「繰入金」がある。

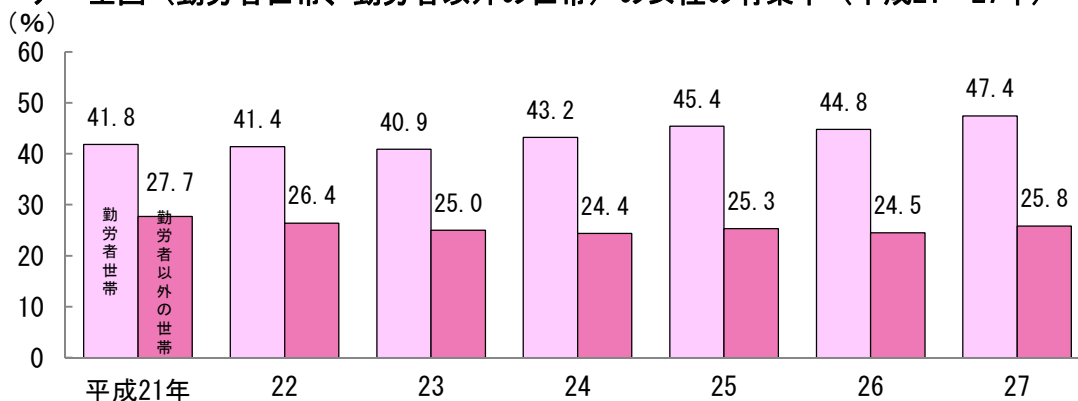
2 単身世帯とは、1戸を構えて暮らしている人、間借りして一人で暮らしている人、寮・寄宿舎、下宿屋に住んでいる単身者一人一人をいう。

## V 女性関係データ（参考）

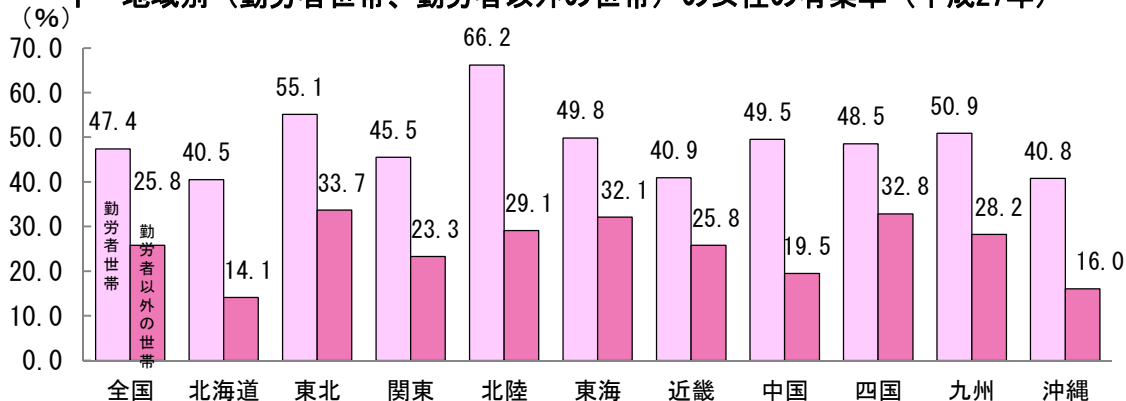
### 9 日本の世帯における女性の有業率の推移

世帯における女性の有業率の最近の推移をみると、勤労者世帯は増加傾向にあるが、勤労者以外の世帯は減少傾向となっている。

ア 全国（勤労者世帯、勤労者以外の世帯）の女性の有業率（平成21～27年）



イ 地域別（勤労者世帯、勤労者以外の世帯）の女性の有業率（平成27年）



### 9 世帯主の職業別世帯主の配偶者のうち女性の有業率

単位：%

区分	平成21年		22		23		24		25		26		27	
	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	勤労者世帯	勤労者以外の世帯
全国	41.8	27.7	41.4	26.4	40.9	25.0	43.2	24.4	45.4	25.3	44.8	24.5	47.4	25.8
北海道	35.9	18.8	33.6	15.6	32.9	15.9	40.4	17.7	44.5	19.1	43.6	18.8	40.5	14.1
東北	47.1	36.2	49.5	31.6	47.1	26.2	49.0	28.9	49.3	30.3	48.1	31.7	55.1	33.7
関東	39.7	25.1	38.3	25.3	36.3	21.7	41.9	22.4	42.8	23.1	40.4	21.8	45.5	23.3
北陸	52.0	41.6	52.2	36.4	57.9	38.6	58.4	30.1	55.9	30.9	58.9	27.7	66.2	29.1
東海	44.8	37.2	46.9	27.9	49.6	32.2	44.1	32.2	50.0	30.3	51.2	32.8	49.8	32.1
近畿	37.1	23.1	37.2	23.9	36.9	22.6	36.7	18.5	40.9	21.5	40.9	20.9	40.9	25.8
中国	46.9	30.7	42.6	26.5	44.3	24.5	44.7	23.3	47.0	27.9	52.7	23.7	49.5	19.5
四国	43.5	33.0	47.3	35.4	45.0	40.8	49.9	41.1	51.7	35.1	50.7	28.1	48.5	32.8
九州	43.9	23.5	43.5	26.7	41.4	25.8	44.5	25.8	46.6	27.4	45.5	27.3	50.9	28.2
沖縄	40.0	24.7	43.1	20.5	39.1	25.3	42.8	22.5	46.0	21.7	38.8	22.9	40.8	16.0

資料：総務省統計局「家計調査」

注：世帯主とは、名目上の世帯主ではなく、その世帯の家計の主たる収入を得ている人をいう。

「勤労者世帯」とは、世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯をいい、「勤労者以外の世帯」とは、「勤労者世帯」を除いた世帯をいう。ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社・団体の役員である世帯は「勤労者以外の世帯」とする。